

「宇都宮市人口ビジョン」(素案)及び「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案)について

- 1 「宇都宮市人口ビジョン」及び「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付け
- ・ 「宇都宮市人口ビジョン」(以下、「人口ビジョン」という。)は、本市における人口の現状を分析した上で、21世紀の半ばとなる2050年を見通した長期的なまちづくりを進めていく上で、目指すべき方向性と将来の人口の展望を示す。
 - ・ 「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「地方版総合戦略」という。)は、「人口ビジョン」の着実な実現に向けた、今後5ヵ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめる。

2 策定経過

- 平成26年9月～ 庁内「人口減少対策推進本部」を設置し検討を実施
- 9月～ 県内25市町の副市長、副町長による「栃木県人口問題対策研究会」へ参加
- 平成27年1月～ 「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」対象事業の検討
(「地方版総合戦略」に位置付けられる見込みで、策定に先行して行う事業を選定し、国へ申請)
- 6月～ 「人口減少対策検討懇談会」の設置
- 8月 市議会「人口減少対策調査特別委員会」において、本市の取組について説明

3 「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の内容・特徴

(1) 内容

- ・ 「宇都宮市人口ビジョン」(素案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **資料2**
- ・ 「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案)・・・・・・・・・・ **資料3**
- ・ 「宇都宮市人口ビジョン」(素案),「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案)の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **参考資料1**

(2) 特徴

ア 「人口ビジョン」

- ・ 市民意識調査等により得られた本市の希望出生率1.72の実現や、本市と東京圏での人口移動の均衡が図られること等により、2050年（平成62年）においても約50万人の人口を確保できる見通しを示した。

イ 「地方版総合戦略」

- ・ 人口の長期的な見通しの実現に向け、人口の「自然動態」、「社会動態」及び「都市基盤」の3つの視点で基本目標を示し、それぞれにおいて、「市民の結婚・出産・子育ての希望の実現」、「東京圏からの流入人口の増加」、「ネットワーク型コンパクトシティの形成」などに資する施策を盛り込んだ。
- ・ 本市では、「第5次総合計画」において人口減少時代を見据えた取組を着実に進めてきたところであり、「地方版総合戦略」の構成施策は、総合計画に掲げられた施策等を基本として、地方創生の観点から新たな施策事業を盛り込んで策定した。

4 「地方版総合戦略」に盛り込む新規事業（案）について

- ・ 「地方版総合戦略」の3つの基本目標（人口の「自然動態」、「社会動態」及び「都市基盤」）ごとに、29事業を新規に盛り込んでいく。

基本目標1：市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する

- ・ 若者のUJIターンの促進
- ・ 家族観・結婚観を醸成するPR活動の充実
- ・ こども医療費助成制度の拡充
- ・ 保育施設等の第3子以降の保育料免除事業の拡充 など

基本目標2：人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る

- ・ エネルギーセンターの活用促進
- ・ 返還免除型育英修学資金貸付制度
- ・ 産業人材ニーズ等の把握
- ・ 東京圏における本市への定住・企業誘致の促進 など

基本目標3：人口規模・構造の変化に適合したまち、ネットワーク型コンパクトシティを実現する

- ・ 都市機能等の適正な誘導推進（立地適正化計画の策定）
- ・ 中心市街地活性化の推進（低・未利用地の有効活用）
- ・ LRTの整備
- ・ 交通ICカードの導入推進 など

5 今後のスケジュール（案）

平成27年10月 2日（金）～ パブリックコメントの実施

10月下旬 「人口ビジョン」、「地方版総合戦略」の作成・公表